

令和元年8月23日

日本原子力発電株式会社
敦賀発電所長 坂井 毅志 殿

敦賀原子力規制事務所
統括原子力運転検査官 山賀 悟

安全文化・組織風土劣化防止に係る取組の総合評価について

平成30年4月1日から平成31年3月31日に行われた、敦賀発電所における安全文化醸成活動については、以下のとおり評価しましたので通知します。

記

【総合所見】

平成30年度の計画に掲げられた取組は、事務所要請事項も含めて実施され改善に向けた取組が実施されており、ヒューマンエラーの発生件数も平成29年度の12件から7件に減少した。また事務所要請事項の「隔離(アイソレ)」に関して漏えいに関するヒューマンエラーが確認されなかったこともあり、安全文化・組織風土劣化防止に係る取組状況については「計画に基づいた取組が行われ、改善傾向がみられる。」と評価する。

安全文化・組織風土の劣化兆候については、ヒューマンエラー事象の分析結果から「作業管理」、「常に問いかける姿勢」及び「コンプライアンス」に関する要素の弱みが懸念されるため「さらに傾向を見るため継続した監視を必要とする。」と評価する。

以上